

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-535309(P2004-535309A)
【公表日】平成16年11月25日(2004.11.25)
【年通号数】公開・登録公報2004-046
【出願番号】特願2002-577213(P2002-577213)
【国際特許分類第7版】

B 4 2 B 4/00

B 6 5 H 37/04

【F I】

B 4 2 B 4/00

B 6 5 H 37/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月23日(2005.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ステーブルされて小冊子が形成されるシート(200)を受け取る、シート受取り部材(102)と、

前記シート受取り部材(102)上にほぼ一列に配列された複数の能動クリンチ・ユニット(106)と、

前記複数の能動クリンチ・ユニット(106)のそれぞれに対してステーブルを送り出し可能に構成された1つの可動のステープラ・ヘッド(104)とを備えることを特徴とするステーブル綴じ装置。

【請求項2】

前記ステープラ・ヘッド(104)と前記クリンチ・ユニット(106)とを、同期させて作動させるコントローラ(118)をさらに備えることを特徴とする請求項1に記載のステーブル綴じ装置。

【請求項3】

前記ステープラ・ヘッド(704)および前記複数の能動クリンチ・ユニット(706)が、共通のクリンチ・モータ(705)によって動作するように構成されることを特徴とする請求項1に記載のステーブル綴じ装置。

【請求項4】

前記複数の能動クリンチ・ユニット(106)が、共通のクリンチ・モータ(112)によって動作するように構成されることを特徴とする請求項1に記載のステーブル綴じ装置。

【請求項5】

前記複数の能動クリンチ・ユニット(106)が、同時に動作するように構成されることを特徴とする請求項4に記載のステーブル綴じ装置。

【請求項6】

前記シート受取り部材(102)が、折られたシート(200)を受け取る、背(116)を有するサドルであり、また、前記ステープラ・ヘッド(104)が、前記シートを受け取るサドルの前記背(116)にほぼ平行な直線に沿って移動できるように構成され

ることを特徴とする請求項 1 に記載のステープル綴じ装置。

【請求項 7】

前記ステープラ・ヘッド（104）が、前記シートを受け取るサドル（102）の前記背（116）に平行に配設された少なくとも一本のレール（114）に沿って移動可能に構成されることを特徴とする請求項 6 に記載のステープル綴じ装置。

【請求項 8】

前記複数の能動クリンチ・ユニット（106）がそれぞれ、クリンチ板（512）を回転させる可動押し棒（506）を具備することを特徴とする請求項 1 に記載のステープル綴じ装置。

【請求項 9】

前記押し棒（506）が、クリンチ・モータ（112）の駆動軸（502）上に取り付けられたクリンチ・カム（504）により作動するように構成されることを特徴とする請求項 8 に記載のステープル綴じ装置。

【請求項 10】

前記押し棒（506）が、前記押し棒を初期位置に戻す戻しばね（516）を備えていることを特徴とする請求項 9 に記載のステープル綴じ装置。